

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 124 ※記入不要	提案機関名 神奈川県農業協同組合中央会
要望問題 環境保全型農業推進のための栽培マニュアルの確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	
<p>背景 農業の持続と安全・安心のための地産地消をすすめるには、環境保全型農業の推進による高付加価値の農業生産が必須である。環境保全型の農業生産に関連した栽培管理技術は、断片的には解決されたり開発された実用技術がある。</p> <p>内容 それら部分技術を主要な作目・作型ごとに栽培体系として組み立て、経済性を評価検討するとともに、従来と同等以上の経営が成立するよう病害虫防除、施肥その他補完的技術の解決・開発を含めて、栽培マニュアルを整備するための試験研究をしていただきたい。</p> <p>対象地域 県下全域の販売農家 18,000 戸</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ <input checked="" type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input checked="" type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input checked="" type="checkbox"/> ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（ <input checked="" type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	農業環境部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	プロジェクト研究
対応の内容等	<p>農業振興課で「環境保全型農業栽培の手引」を発行しておりますが、当研究所におきましても、より良い手引きの作成のため、また、より現実に即した栽培が行えるよう、部間を横断した所内プロジェクトとして各作物毎に研究を行っております。プロジェクト研究では、農薬や施肥についての見直しだけではなく、経済性や労働時間についても試験を行っております。</p> <p>これまで実施したトマトやキャベツの所内プロジェクトの成果を元に、「環境保全型農業栽培の手引き」第2版の改訂を行いました。</p> <p>今後も本書が改訂される毎に研究成果を反映するように対応していきます。また、エコファーマーなどに対する各地域農業改良普及センターの支援に対して、情報提供や技術協力を行っていきます。</p>
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
備考	